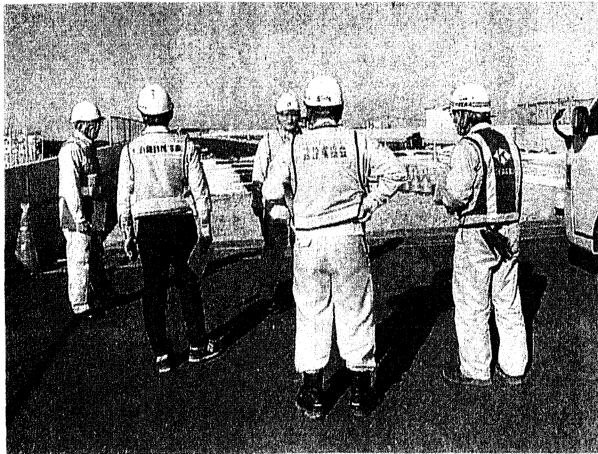


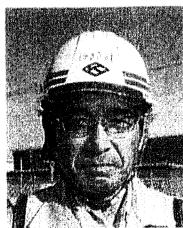
仙建協 雇用安全パトロール

仙台建設業協会(深松秀会)2回雇用・安全管理パトロールは25日、2024年度第2回実施した。労務安全委員



日建工業の現場で災害防止対策を点検した

安全と働き方など共有



柿崎監理技術者

災害防止対策向上へ

と安全指導員が会員施工の現場2カ所を巡回し、災害防止対策と夜間工事や週休2日工事に対応した働き方の対応に

について情報を共有した。会全体のみならず労働災害防止対策につなげる。

パトロールは、会全体の安全管理の向上と意識高揚を目的に春と秋の年2回実施している。労務安全委員と安全指

導員5人が巡回し、日建工業が施工する国道4号拡幅に伴う宮城野地区舗装工事、ビル下の施工で仙台市発注の立体

駐車場棟改修工事で書類点検と現場の安全対策を確認した。日建工業の現場は、国道4号拡幅箱堤交差点の立体化に伴う国直轄の舗装工事、幅員9mの舗装新設と、現道舗装の打ち換えを同時に施工している。交通需要が集中する交差点のため、現場に搬入出するタンクトラックに工事規制が見えるよう、表示物を高い位置に設置している。

昼夜間の工事は、技術者を交代で配置し、昼から夜の勤務に変更する際は、余裕期間に1日休日を挟み、体調管理に配慮している。パトロール隊は厳しい現場環境で、表示の工夫や継続した熱中症対策など危険を予測した事故防止対策を高く評価した。また、休日を含んだ勤務体制など、独自の工夫点を参考とした。同社では年間を通して切れ目なくパトロールを実施している。監理技術者の柿崎栄司さんは「昼夜間の週休2日工事となる。点検に加えて人や工程など事前に計画を立てての通りに進むよう調整している。より綺麗に仕上げ年度内の開通に尽力したい」と話した。